万博「絆」通信

Vol. 1

令和６年４月１８日　発行

自見 はなこ
国際博覧会担当大臣

齋藤　健
経済産業大臣

私は、日々、色々な人から、万博に対する期待や熱意を伺っており、こうした声を、現場で働いている皆様にも共有したいと思い、これから定期的に、「万博絆通信」として発信したいと考えています。

開幕まで、あと１年。万博に関係する人の「絆」を大切に、万博を素晴らしいものにしてまいりましょう！

残り１年「万博に行けばどのようなものを見て、体験できるのか」という、万博の意義や中身を、関係者一丸となって発信することが重要です。

来場者、特に将来を担う子どもたちが、万博でのワクワクする体験を通じて未来に夢や希望を持つきっかけとなるような万博を皆で創りあげていきましょう。

上月 良祐
経済産業副大臣　兼
内閣府副大臣
（国際博覧会担当）

来場者の皆さんに楽しく未来を感じてもらい、有意義な時間を過ごしてもらうため、準備を加速化していかねばなりません。

来場者の笑顔で、私たちも笑顔になりましょう！

世界の人々が心待ちにしている万博。開催まであと１年となり、準備も大詰めです。今までご尽力いただいた方々に心から感謝します。夢ある未来社会の景色を日本から届けましょう。

石井 拓
経済産業大臣政務官　兼
内閣府大臣政務官
（国際博覧会担当）

【開幕１年前を迎えて】

いよいよ、万博開幕まで１年となりました。

4/13（土）のイベントでは、８名のテーマプロデューサーのトークセッションや公式ユニフォームのお披露目が行われ、さらにミャクミャク初の「声出し」も披露され、万博への熱の高まりを感じました。

4/17（水）には、大阪市で「いくぞ！万博フェスティバル」が開催され、経済界から松本関経連会長・鳥井大商会頭、地方自治体から熊谷千葉県知事・高島福岡市長、さらにチアリーディングやバンド演奏など、ナショナルプロジェクトである万博にふさわしい、多様なメンバーでのイベントとなりました。

引き続き、関係者が一丸となって万博を盛り上げていきましょう！

2024.4.23

今週の大阪・関西万博　週報（4/16～4/22）
～　開催まで　あと３５５日です！　～

１．　海外パビリオンの状況

□　4/17（水）、大阪･夢洲で米国がパビリオン起工式を実施。エマニュエル大使、吉村知事らが出席。公式レセプションには、自見大臣も参加。
米国館テーマは「共に創出できることを想像しよう」（“Imagine What We Can Create Together”）。NASA と提携した宇宙関連の展示やハリウッド発の特殊効果を用いた没入感のある展示などを検討中。

左：起工式の様子（米国大使館より）（https://jp.usembassy.gov/ja/us-breaks-ground-for-pavilion-at-expo-2025-osaka-ja/）
右：米国パビリオンのイメージ（米国大使館より）
（https://jp.usembassy.gov/ja/ambassador-debuts-usa-pavilion-design-for-expo-2025-osaka-ja/）

下：米国パビリオン起工式レセプションの様子（X【大阪・関西万博】国際博覧会推進本部事務局（内閣官房公式）より）
（https://twitter.com/expo2025_cas/status/1780593759765557403?ref_src=twsrc%5Egoogle%7Ctwcamp%5Eserp%7Ctwgr%5Etweet）

□　オーストリアは 4/16（火）に起工式、4/18（木）にパビリオン発表会を相次いで実施。パビリオンのテーマは「未来を作曲」。建物正面に高さ約 12 メートルの五線譜をイメージした螺旋状の木造オブジェが設置される予定。

左：起工式の様子（https://www.sankei.com/article/20240416-FZTROMMDPVLK3GIJRJORMM33UI/）
右：パビリオンのイメージ
（https://www.advantageaustria.org/jp/news/20240416_EXPO_2025_Ground_Breaking_Ceremony_.en.html）

□　4/15（火）、イタリアがミラノ・デザインウィークにおいてパビリオンの展示内容の一部を発表。17 世紀にカラバッジョが描いた著名な絵画『キリストの埋葬』を教皇庁が出展。テラスでイタリアン・レストランを運営するほか、デザイン性ある手工芸品の専用エリアも設置。大阪・関西万博でのイタリア公式マスコット「イタリアちゃん」も発表。

出典（博覧会協会 HP）：https://www.expo2025.or.jp/official-participants-index/italy/
出典（共同ニュース PRWIRE）：https://kyodonewsprwire.jp/release/202404189667

□　4/18（木）、モナコが本国でパビリオンの内容を発表。庭園をイメージした外観。テーマは“Take Care of Wonder”。都市、自然、海洋を育む取組について来場者と共有する狙い。

上：モナコパビリオンのイメージ
（https://twitter.com/JapanArchitects/status/1780392967322407219）

□　今週は以下のパビリオン発表会・起工式を実施予定。

起工式：　4/23 フランス、カタール

パビリオン発表会：　4/24 フランス、インド

【現在の参加国等の状況】（4 月 19 日現在）
- 公式参加契約締結国数：　96 か国
- 敷地を引き渡した国：　34 か国
- 施工事業者が決まった国：38 か国
- 着工済みの国：　15 か国

２．先週の主な活動／今週以降の予定

□　4/16（火）、在英国日本大使館（@ロンドン）において万博開幕１年前の記念レセプションを開催。英国政府関係者、英国議会議員、日英企業関係者など約160名が参加。ミャクミャクが初めて「渡英」。

在英国日本大使館ホームページより
https://www.uk.emb-japan.go.jp/itpr_ja/240416amb_00001.html

□4/13（土）、ウェブ・マガジン「月刊日本館」を創刊。日本政府館の展示に関連するテーマを毎月取り上げ、オンラインで情報発信。「いのちと、いのちの、あいだに」との日本政府館のテーマへの理解増進と機運醸成を狙うもの。建築・展示準備の進捗状況も毎月更新。

出典：「月刊日本館」https://2025-japan-pavilion.go.jp/

□　4/22（月）「ボランティアスタッフ」の公式ユニフォームを発表。SDGs 目標の一つ「パートナーシップで目標を達成しよう」のカラーであるネイビーを基調とした色調。（※去る 4/13 の博覧会協会主催の一年前イベントで公表されたのは「会場スタッフ（＝協会職員）」の公式ユニフォーム。）

【会場ボランティアユニフォーム】

【大阪まちボランティアユニフォーム】

出典：博覧会協会 HP：https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240422-03/

＜参考＞会場スタッフ公式ユニフォーム

【会場サービスアテンダントスタッフユニフォーム】

・意外性のあるバランス、生地の組み合わせによってこれまでと異なるワクワク感を表現。
・インナーの色、ボトムの組み合わせを自由に選択でき、寒暖差にも対応可能。新しいユニフォームの形を表現。
・インナーは植物由来繊維を使用し、世界共通認識の SDGs カラーを起用。
・シューズは一部にサトウキビ由来の材料を使用。
・会期終了後は回収し、カトラリーに姿を変える。

【協会職員正装ユニフォーム】

【運営スタッフユニフォーム】

【清掃スタッフユニフォーム】

【医師スタッフユニフォーム】

出典：博覧会協会 HP：https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240413-02/

□　4/17（水）、大阪府・市主催の「開幕１年前『いくぞ！万博』フェスティバル」が大阪市内で開催。自見大臣が登壇し、「大阪・関西万博は、『いのち』をテーマにプロデューサーや各国が魅力的な展示を企画しており、是非、多くの方に万博にお越しいただきたい。」と約 2,500 名の来場者へ呼びかけ。

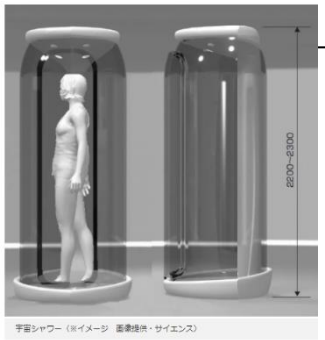
参考：博覧会協会ＨＰ（https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240328-08/）

万博の機運醸成のため３都市で実施する「地域カンファレンス」の一環として、大阪府知事、大阪市長に加え、千葉県知事、福岡市長が参加したトークセッションも併せて実施。

◇ 上記イベントに際して、「大阪・ヘルスケアパビリオン」の展示内容について、出展企業の株式会社サイエンスから「宇宙シャワー」、日本生命保険相互会社から「人生ゲーム REBORN in 2050」も紹介。

～宇宙シャワー～

宇宙空間でも使用でき、水資源が限られた空間でも少量の水で汚れを落とせるシャワー。



出典：株式会社サイエンスプレスリリース資料

https://i-feel-science.com/expo2025/

～人生ゲーム REBORN in2050～

人気ボードゲーム「人生ゲーム」の形式で、未来の医療や健康サービスを紹介。

出典：日本生命保険相互会社プレスリリース資料

https://www.nissay.co.jp/news/2023/pdf/20231122.pdf

□ 4/15（月）、飯田グループ×大阪公立大学の共同館が外装工事に着手。同館は、「未来と伝統の融合」をテーマにした外観デザインであり、巨大な「西陣織」を用いた建築。最新技術を駆使した西陣織外壁の表面積は約 3,500 ㎡。

出典：（飯田グループ HP）https://www.ighd.co.jp/lp/expo2025.html

□ 4/18（木）　ミャクミャクと奈良県マスコット・キャラクターせんとくんがコラボしてキービジュアルとなった「すぐ、そこ、万博！ 奈良泊×万博」キャンペーンを発表。20 日（土）に一年前イベント「NARA YOUTH EXPO」を奈良市で開催。

出典：奈良県庁 HP
https://www.pref.nara.jp/63926.htm

□ 4/19(金)、会場内で 3/28 に発生した可燃性ガス事故について、博覧会協会は、事故の発生原因と再発防止策を発表。22 日より火気を使用する工事を再開。

□ 4/19（金）、過去２回不調・不落となっていた若手建築家設計のトイレ施設１ヵ所について改めて公告を実施（再々公告）。トイレ規模を縮減（60 器→46 器）し、予定価格を約 1.7 億円から約 1.5 億円に引下げ。開札日：5/30（木）。

３．募集の状況

◇　ボランティア登録数：　2 万 2,799 人（2024 年 4 月 19 日現在）
※目標２万人を達成。先週から一週間で約 5000 人増。

◇　チケット販売枚数　：　155 万 7,940 枚（2024 年 4 月 17 日現在）

４．報道等での主要な指摘事項と事実関係

（メタンガス爆発について）

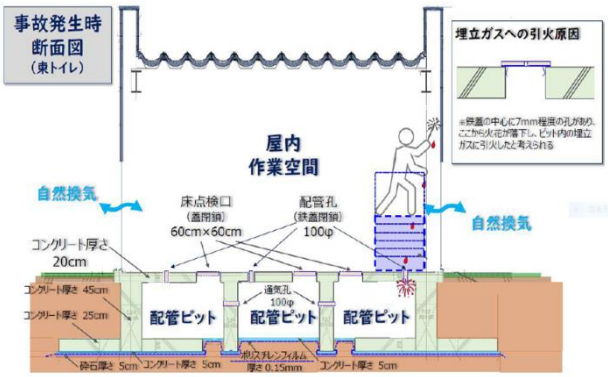
指摘事項

■　先日の会場内の工事現場でのガス事故後、工事は再開されているが、会場の安全性には依然として問題があるのではないか。

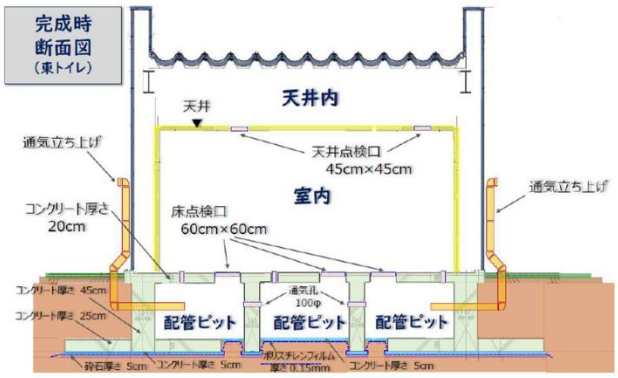
【事実関係】

・事故の原因は、現場の地下ピットで土壌から生じたガスが滞留していたにもかかわらず、換気の徹底とガス濃度の測定など決められた手順が守られないまま、地上階で火気を使用してしまったこと。
・ガス発生の可能性がある工区では、手順書を改定し、作業前のガス濃度測定を徹底。火器作業は床上の作業であっても、配管ピット内の濃度測定を義務づけ。
・パビリオン周辺の工区でも地下ピットにおけるガス濃度を計測。
・専門家の意見も聴取した上で、対応策をとりまとめ。

（参考）　事故時の断面図



完成後の断面図



出典：博覧会協会 HP　https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240419-05/